



2014年12月17日

各 位

イオン液体を用いた人工衛星用二次電池について

第一工業製薬株式会社

第一工業製薬（本社：京都市南区、社長：大柳雅利）は、2002年からイオン液体の研究開発を始め、2006年には関西大学（大阪府吹田市、学長：楠見晴重）化学生命工学部の石川正司教授らと共にリチウムイオン二次電池の電解質として作動することを学会発表しています。

このたび、石川教授、山縣雅紀准教授と当社グループが共同開発したイオン液体リチウム二次電池が人工衛星「ほどよし3号」に搭載され、駆動実験に成功しました。

このイオン液体リチウム二次電池には当社のイオン液体（製品名：**エレクトセル II**）が用いられており、グループ会社であるエレクトセルがリチウム二次電池を試作製造しました。

エレクトセル IIは、常温で液体、不揮発性、難燃性などの特長を持った製品であり、二次電池の安全性や信頼性の向上に貢献するものです。

今回、イオン液体リチウム二次電池が宇宙空間での駆動実験に成功したことを受け、イオン液体の研究開発をさらに推進していきます。

今後も当社は、環境やエネルギー分野などの最先端分野で当社技術や知見を用いた製品を開発し、事業領域周辺の拡大とともに貢献していきます。

（ご参考）関西大学プレスリリース「KU EXPRESS」 2014年度 No.10, No.32

以上

本件についてのお問い合わせ先

第一工業製薬株式会社

広報IR室 TEL075-323-5951